読んで！ 見て！

なすから議会だより

No.82
2026.11.10

第1回議会報告会「なすから議会カフェ」（令和8年10月4日）













発行　那須烏山市議会　問い合わせ　0287-88-7114

令和８年第５回

9月定例会のあらまし

那須烏山市議会９月定例会は１日に招集され、会期を16日間と定め、補正予算案や条例案など計13議案と８つの会計の決算認定について審議しました。また、２日から４日まで11人が一般質問を行いました。

会議録は市立図書館と市ホームページで閲覧できます。

令和7年度の決算を認定しました

９月定例会は「決算議会」ともいわれ、前年度のお金の収支に関する審議を行います。これを決算認定といいます。那須烏山市議会では、９月７日に常任委員会に付託され９月８日から９日までの２日間にわたって審査を行いました。

決算の詳しい内容については「広報なすからすやま第253号」２～３ページを、また各常任委員会の審査結果については８～９ページをご覧ください。

一般会計	歳入	148億4754万1282円	歳出	139億6320万667円
特別会計･企業会計	歳入	77億5645万8535円	歳出	78億5693万1377円

令和8年度予算を補正

令和８年度の補正予算案が上程され、すべて原案のとおり可決しました。今回補正された主な内容は次のとおりです。

会計区分		補正前の額	9月補正予算額	合　計
一般会計		133億7544万4千円	1億1315万3千円	134億8859万7千円
介護保険特別会計		27億4795万5千円	7518万9千円	28億2314万4千円
水道事業会計	資本的支出	4億5986万1千円	585万2千円	4億6571万3千円
下水道事業会計	収益的支出	9209万4千円	8440万円	1億7649万4千円

▼一般会計の歳出の主な内容	補正額
○自治会に対する防犯灯電気代の支援（１灯あたり1000円）	290万円
○家庭用防犯カメラ等の設置に対する補助金	450万円
○平成25年から３年間の生活扶助基準の引き下げ改定が違法と判断されたことに伴う、対象世帯への差額の追加給付	1497万2千円
○南那須土地改良区（下江川揚水機場）の電動機修繕に要する補助金	2749万4千円
○山あげ会館の空調設備故障及び雨漏りの修繕費	291万7千円
○市道田野倉曲畑線の舗装修繕に係る工事請負費	930万3千円
○市営住宅の家賃算定誤りによる過誤納金等の還付に係る償還金	1255万7千円
○南那須中学校・烏山中学校の体育館に空調設備を設置するための設計業務委託料	803万円

▼歳入の主な内容	補正額
○家庭用防犯カメラ等の設置に対する補助金及び自治会交付金の増額に係る重点支援地方交付金	740万円
○新規就農者等に対する新規就農総合支援事業費補助金	1417万4千円
○企業版ふるさと応援寄附金	99万9千円

条例改正

那須烏山市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正

重度心身障がい者、妊産婦、こども、ひとり親家庭に対する医療費助成制度について、受給資格の審査で必要となる医療保険の資格者等の情報を、個人番号を利用してオンライン上で確認できるようにするため、所要の改正を行いました。

那須烏山市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正

出入国管理及び難民認定法等の一部が改正され、個人番号カードと同様の機能が備わる特定在留カード・特定特別永住者証明書が新たに交付できるようになったことに伴い、印鑑登録証明書のコンビニ交付サービス、オンライン申請においても利用できるようにするため、所要の改正を行いました。

那須烏山市認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正

地方自治法施行規則の一部改正により、認可地縁団体の認可等に係る告示について、代表者等の住所を告示することを廃止する改正が行われたことに伴い、引用する条項の移動が生じたことから、所要の改正を行いました。

報　告

令和７年度那須烏山市一般会計継続費精算報告書について

令和6年3月定例会において、生涯学習施設の整備方針等の計画策定業務委託に係る予算措置を行い、令和7年度をもって継続年度が終了したことについて報告を受けました。

専決処分の報告について（損害賠償の額の決定及び和解について）

那須烏山市役所南那須庁舎敷地内において発生した事故について、損害賠償額が決定し和解が成立したことについて報告を受けました。

専決処分の報告について（損害賠償の額の決定及び和解について）

那須烏山市中央3丁目地内において発生した事故について、損害賠償額が決定し和解が成立したことについて報告を受けました。

一般財団法人那須烏山市農業公社の経営状況説明書の提出について

一般財団法人那須烏山市農業公社から、令和7年度経営状況説明書が提出されたことについて報告を受けました。

令和７年度健全化判断比率及び資金不足比率について

令和7年度決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率について、監査委員による審査結果の報告を受けました。

人　事

那須烏山市教育委員会委員の任命同意に

教育委員のうち、坂本浩之氏が令和８年11月２９日に任期満了を迎えるにあたり、引き続き委員として任命することについて同意しました。

那須烏山市固定資産評価審査委員会委員の選任同意について

固定資産評価審査委員のうち、３名の委員が令和８年11月２９日に任期満了となるため、引き続き岩附淳一氏と鈴木英男氏を委員として選任すること、新たな委員として大野治樹氏を選任することについて同意しました。

議決事項

損害賠償の額の決定及び和解について（追認）

那須烏山市藤田地内において発生した事故について損害賠償額が５０万円を超えていることを見落とし、議決を経ずに和解していたことから、追認の議決をしました。

防災重点農業用ため池の防災工事の施工について

３か所のため池に関し、耐震性確保のための改修及び計画洪水量を安全に流下させるための放出調整設備の改修工事を実施することについて議決しました。

令和７年度那須烏山市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

令和７年度水道事業会計について、未処分利益剰余金２億１８８８万９７４３円のうち、１億６９３７万４２９７円を資本金に組み入れ、４９５１万５４４６円を建設改良積立金に積み立てることについて議決しました。

令和７年度那須烏山市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

令和７年度下水道事業会計について、未処分利益剰余金８１２３万１５１３円のうち、４１８０万３４６７円を資本金に組み入れ、３９４２万８０４６円を減債積立金に積み立てることについて議決しました。



傍聴者数・YouTube視聴回数

月　　日	内　　容	傍聴者数	視聴回数
９月 １ 日（火）	開会・上程・採決・付託	３人	387回
９月 ２ 日（水）	一般質問	２５人	1418回
９月 ３ 日（木）	一般質問	１５人	1052回
９月 ４ 日（金）	一般質問	２０人	1145回
９月 ７ 日（月）	決算総括質疑	３人	570回
９月16日（水）	報告・採決・閉会	２人	147回
計		６８人	4719回

※YouTubeは、9月30日時点のライブ配信の視聴回数です。

令和８年第５回９月議会で審査された請願・陳情

陳情書第７号　龍門の滝公衆トイレ男用小便器の改修を求める陳情について

審査結果　継続審査

龍門の滝公衆トイレ男用小便器で悪臭が発生していることから、改修を求めるものです。

陳情書第８号　庁舎整備検討委員会の設置について

審査結果　不採択

令和８年４月の市議会議員選挙で議員の約半数が入れ替わったことから、改めて議会内に庁舎整備検討委員会を設置し、庁舎整備基本計画について議論することを求めるものです。

陳情書第９号　庁舎整備の住民投票について

審査結果　不採択

庁舎整備は市民にとって重大な影響を及ぼす事業であることから、民意を反映するため、条例を制定し住民投票を行うよう求めるものです。

陳情書第１０号　広域避難について

審査結果　採　択

地震等により本市が被災した際、市民が被災していない自治体の宿泊施設等に避難できるよう、近隣自治体と連携し広域避難を取り入れるよう求めるものです。

陳情書第１１号　共同（公用）井戸について

審査結果　採　択

地震等により本市が被災し、断水が発生した場合に備え、市内に井戸を掘削するなど、被災者の生活用水の確保策を検討するよう求めるものです。

陳情書第１２号　烏山いろはかるたの看板修繕を求める陳情について

審査結果　継続審査

旧烏山商工会が設置した烏山いろはかるたの看板が経年劣化の影響で破損していることから、修繕を求めるものです。

また、那須烏山市版の新たないろはかるたの制作の検討を求めるものです。

陳情書第１３号　那須烏山市空家等対策計画について

審査結果　不採択

那須烏山市空家等対策計画の基本方針に基づき、特定空家等への対策として除却の補助制度を創設しているが、国の空き家対策総合支援事業を活用し、空家等の発生予防及び適正管理、空家等の活用促進に取り組むよう求めるものです。

審査結果の理由は、令和８年９月１６日の本会議映像・会議録をご覧ください。

請願・陳情の方法

請願や陳情は、市議会に対して市政への意見や要望を書面により提出することができる制度です。

一般質問通告書提出期限日までに受理した請願・陳情について原則として直近の定例会で採択の可否を審査します。

提出をご予定の方は、提出期限の確認も含め議会事務局までご連絡ください。（☎0287-88-7114）

提出の際の注意事項

- 請願を提出する場合は紹介議員が必要です。陳情の場合は紹介議員は必要ありません。
- サイズはＡ４、署名または記名押印して提出してください。
- 道路や水路に関する内容の場合は場所を示す略図を必ず添付してください。

令和8年第5回9月定例会賛否一覧

（起立による採決）

※相馬議長は表決に加わらない。　○･･･賛成　●･･･反対

議案等		審議結果	議員別賛否一覧													
			佐藤利奈	束原勇二	秋葉泰輔	小室悟	佐々木豊	大橋誠	髙木洋一	堀江清一	青木敏久	矢板清枝	小堀道和	相馬正典	渋井由放	平塚英教
認定第1号	令和７年度那須烏山市一般会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	●	●
認定第2号	令和７年度那須烏山市国民健康保険特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	●
認定第4号	令和７年度那須烏山市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	●
認定第5号	令和７年度那須烏山市介護保険特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	●
陳情書第9号	庁舎整備の住民投票について	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	●

※その他の議案２４件は全会一致で可決しました。

定例会の審議結果一覧は市議会ホームページからご覧いただけます。
https://www.city.nasukarasuyama.lg.jp/sp/page/dir000085.html

令和7年度決算に基づく健全化判断比率が公表されました。

令和７年度決算に基づく健全化判断比率の算定結果が監査委員の審査を経て、９月定例会において報告されました。また、この算定については適正にされていることと、現段階においては是正改善を要する事項がないことも併せて報告されました。

●令和７年度決算に基づく健全化判断比率　（単位：%）

指標の種類		那須烏山市 R6	那須烏山市 R7	早期健全化基準
健全化判断比率	実質赤字比率	—	—	13.57
	連結実質赤字比率	—	—	18.57
	実質公債費比率	7.2	6.5	25.0
	将来負担比率	—	—	350.0
資金不足比率		—	—	経営健全化基準 20.0

健全化判断比率…
早期健全化基準の数値を上回った場合、早期健全化計画等を策定しなければなりません。

資金不足比率……
経営健全化基準の数値を上回った場合、経営健全化計画を策定しなければなりません。

※「—」は、赤字または資金不足を生じていないため、当該数値について該当がないことを示しています。

令和８年第５回
９月定例会の主な質疑



９月定例会の議員質疑の中から、主なものを要約して掲載しています。

令和７年度那須烏山市一般会計継続費精算報告書について

Q平塚議員　令和6・7年度の委託を通じて策定した計画期間と市内施設の整備と統廃合の考え方を伺う。

A生涯学習課長　計画期間は令和８～17年度である。25施設の劣化度と政策優先度を踏まえ、残す施設と集約する施設、修繕して継続する施設を整理していく計画である。統廃合や新設は令和18年度以降の次期計画から進める見通しである。

一般財団法人那須烏山農業公社の経営状況説明書の提出について

Q渋井議員　県内市町における農業公社の必要性や、設立していない市があるのか伺う。

A農政課長　近隣の市町では、那珂川町、那須町、さくら市には農業公社がないと把握している。

那須烏山市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について

Q渋井議員　医療費助成制度の受給資格確認がオンライン上で確認できることによりどの程度の効率化が図れるのか伺う。また、マイナンバーカードを持っていない場合の不利益はあるのか伺う。

A総務課長　従来は、申請者に窓口で暗証番号を入力いただき受給資格の確認を行っていたが、暗証番号を忘れた場合の再設定などで不便を来していた。今後はマイナンバーカードを提示いただくことで資格確認がスムーズに進められる。マイナンバーカードがない場合は従来通りの手続きとなる。

防災重点農業用ため池の防災工事の施工について

Q平塚議員　ため池工事の実施設計書作成費用と完成予定時期について伺う。

A農政課長　実施設計費用２３００万円のうち、山根ため池が８１０万円、新田ため池が５６０万円、霧ヶ沢ため池は９３０万円である。３か所とも令和９年度内に完成予定である。

令和８年度那須烏山市一般会計補正予算（第２号）について

Q平塚議員　鳥獣被害対策事業費50万円の詳細を伺う。

A農政課長　電柵設置の補助で当初予算110万円を計上していたが、６月末時点で残額が10万円を切り、今後、来年に備えた電柵の設置要望に備えるための増額である。

Q堀江議員　家庭用防犯カメラ等の設置補助金について、予定している件数を伺う。

A総務課長　補助率を３分の２、上限を３万円として150件分計上している。合計金額は450万円である。

Q髙木議員　南那須中学校と烏山中学校の体育館空調設備の設計について詳細を伺う。

A学校教育課長　中学校の体育館空調設備については、令和９年度から施工実施するため、設計費用を補正で計上している。施設の利用頻度や指定避難所であることを鑑みて先に２つの施設を選定したところである。

Q平塚議員　子育て支援短期利用委託費51万7000円、物価高騰対応子育て応援手当給付費72万7000円の詳細を伺う。

Aこども課長　子育て支援短期利用委託費は一時的に児童養護施設等で子どもを預かるショートステイ事業に係る費用である。利用は増加傾向にあり、８月時点の利用実績で当初予算を使い切る状況であるため、追加で予算を計上している。物価高騰対応子育て応援手当給付費については、令和７年度に実施した、０歳から高校３年生までの子ども１人あたり２万円を給付する事業の償還金である。

令和７年度決算総括質疑

Q東原議員　ふれあいの道づくり事業1694万円4000円の事業内容と事業の目的及び効果について伺う。

A建設課長　ふれあいの道づくり事業は、９地区で生活道路の舗装整備などを実施し、機械借上料や原材料費として1694万4000円を支出した。これらの事業は生活道路の整備の要望に対応することを目的としており、住民と行政が協働で道路整備を行うことで、行政コストの削減や道路の長寿命化、地域コミュニティの活性化などの効果が期待される。

Q秋葉議員　コミュニティバス馬頭烏山線について、市負担金が大幅に増加している具体的な要因について伺う。

Aまちづくり課長　働き方改革関連法の施行に伴い、従来の運行委託事業者による運転手の確保が困難となり、運行継続のため委託事業者を変更した。その際に運行経費が増加したため、利用者数は増加したものの、那珂川町と折半している負担金は増額となった。

Q佐々木議員　大規模災害発生時、指定避難所である現在の体育館等の空調設備状況で、被災者の受入れに十分対応できるか伺う。

A総務課長　一部の指定避難所には空調設備が整備されているが、学校体育館には常設の空調設備がないため、現在、教育委員会で整備を進めている。また、避難所開設時には、空調設備のある空き教室などの活用も検討していく。

Q高木議員　ふるさと応援寄附金事業について、寄附返礼品の詳細を伺う。

Aまちづくり課長　ふるさと応援寄附金の返礼品の内訳は、リユーススマートフォン・タブレット・パソコンが８０９件、寄附額１億3,207万5000円で全体の82.7%を占めた。次いで市内ゴルフ場利用券・食事券・宿泊券が75件、826万円となり、そのほかに米や菓子などが続いた。

Q堀江議員　障害者が働きやすい職場環境の整備に努めたとあるが、どのような整備を行ったのか詳細を伺う。

A総務課長　庁内各課の文書封入や書類整理、データ入力などの定型的・補助的業務を１か所に集約し、障害の特性や能力に応じた業務を整理している。業務内容や役割を明確にすることで、障害者が安心して継続的に働ける職場環境づくりを進めている。

Q青木議員　那須烏山市職員「からせんチャレンジ」の効果、参加職員数、利用回数、ＰＲ効果及び市民利用への波及について伺う。

Aまちづくり課長　令和５年度から開始した市職員による利用促進の取組では、令和７年度に28人が参加した。また、設定期間外でも年間10回以上利用した職員が19人、１～９回利用した職員が468人おり、報道などを通じて一定のＰＲ効果があったと考えている。

Q小堀議員　公共施設等総合管理計画について、平成29年度から令和７年度の９年間で12施設を廃止し、延床面積の削減率は7.437%とあるが、最終目標及び令和７年度の達成率を伺う。

A総合政策課長　公共施設総合管理計画では、平成29年度から令和８年度までに公共施設の延べ床面積を10%以上削減する目標を掲げている。令和７年度末の削減率は7.437%で目標未達だが、既に休止している６施設を含めると削減率は11.76%となる。

Q渋井議員　農業公社の運営費として400万円を支出しているが、公社を設置していない自治体もある。他市町村ではどのような方法で農業振興業務を行っているのか伺う。

A農政課長　県内14市のうち11市、11町のうち３町に農業公社が設置されている。公社のない自治体では、農地の貸借に関する仲介業務や農作業の受委託など、公社が担う業務を農政担当職員が通常業務と併せて行っている。



決 算 審 査

令和７年度一般会計、５特別会計、水道事業会計、下水道事業会計の決算については、所管の常任委員会に付託され、それぞれの常任委員会で慎重な審査が行われました。

ここでは、各常任委員会で出された意見等の中から、主なものを要約して掲載しています。

総務企画常任委員会

◎所管する課等

総合政策課、まちづくり課、総務課、税務課、会計課、議会事務局、監査委員、選挙管理委員会及び固定資産評価委員会

総合政策課

・市公式ＬＩＮＥの拡張機能を活用した広報活動の強化や、行政手続きのオンライン化の取組を評価する。その機能を十分に発揮させるため、引き続き庁内におけるデジタル人材の育成に努められたい。また、市民のデジタルデバイド解消に向けた出前講座等も継続的に実施し、利用者が取り残されることのないようＤＸの推進に万全を期されたい。

まちづくり課

・ふるさと応援寄附金については、返礼品の充実やポータルサイトの追加により、総合計画における目標額を大きく上回る寄附額を確保できている点を高く評価する。引き続き新規返礼品の開拓に注力するとともに、デジタル広告を活用した効果的なＰＲを展開し、さらなる寄附の拡大に努められたい。

・ＪＲ烏山線の利用者数増加に向け、関係機関と連携した様々な取組については評価する。今後も市内で開催されるイベント等との連携に努めるとともに、令和７年度から導入されたサイクルトレインや、電動アシスト自転車「ＬＵＵＰ」等を効果的に活用し、地域内外からの誘客とさらなる利用向上を図られたい。

総務課

・頻発化・激甚化する風水害や猛暑などの災害に対応するため、指定緊急避難所における空調整備を検討し、避難環境の快適性と安全性の確保に努められたい。また、避難所運営に不可欠な各種物資の備蓄及び調達体制の強化を図り、いかなる状況下でも迅速に対応できる万全の受入体制を確立されたい。

・防災行政無線は災害発生時における迅速かつ確実な情報伝達の要であり、その充実は急務である。すでに先進的な整備を進めている他自治体の事例等を十分に調査・研究し、本市の地理的・地域的特性に最も適合した、効果的かつ信頼性の高い防災行政無線システムの再構築に向けた具体的な検討を早急に進められたい。

税務課

・大口滞納に対するこれまでの着実な取組と、その成果は評価する。引き続き丁寧かつ的確な納税交渉を重ね、事案の早期解決と収納率の一層の向上に万全を期されたい。また、特定の一握りの事案にとどまらず、全般的な滞納事案に対してもきめ細かく的確に対応することで、税負担の公平性を厳正に確保するとともに、市民全体の納税意識の醸成及び向上につなげるよう努められたい。

議会事務局

・議会内におけるペーパーレス化の推進は評価するが、傍聴者に対しては一般質問通告書等を紙で資料提供するなど、傍聴者が本会議の内容や議論の流れをより深く理解できるよう、市民目線に立った効果的な情報提供の工夫について検討されたい。

文教福祉常任委員会

◎所管する課等

市民課、健康福祉課、こども課、学校教育課及び生涯学習課

市民課

・「書かない窓口」等の導入に伴い、市民アンケート調査等を通じて利用者の評価や意見を把握・反映している取り組みは高く評価する。今後は、こうした利用者視点に立った窓口改革や評価の仕組みを、市民課のみならず全庁的な部署及び事業へと幅広く展開されたい。

・コンビニ交付の推進や各種手続きのデジタル化・機械化に伴い、来庁者数や業務構造が変化していることを踏まえ、適切な業務の効率化とスリム化を進められたい。また、有給休暇の取得促進や時間外勤務の削減など、各課の模範となる働き方改革の推進に率先して取り組まれたい。

健康福祉課

・災害時において自力での避難が困難な高齢者

や障がい者等を確実に支援するため、避難行動要支援者名簿の正確な更新と適正な管理に努められたい。さらに、自治会や自主防災組織、関係機関との連携のもと、名簿に基づいた実効性のある個別避難計画の作成及び防災訓練での活用を強力に推進されたい。

・高齢者の要介護化を防ぎ健康寿命を延伸するためには、早期からのフレイル予防が極めて重要である。「なすから健康マイレージ」等のインセンティブ制度を効果的に組み合わせることで、市民が楽しみながら主体的に運動や健診、地域活動へ参加できる機会を創出し、予防意識の向上と健康増進を図り、医療費の削減に努められたい。

こども課

・こども課発案により児童相談所職員を講師として招聘し、学校の教職員と共に虐待対応や相談方法について勉強会を開催した取り組みは、教育現場と連携したリスク察知能力の向上や、虐待の早期発見や適切な初期対応に繋がった非常に優れた施策であり、高く評価する。今後も関係機関とのデータ共有や連携強化を図り、こども達の安心・安全を守る体制の更なる発展に努められたい。

学校教育課

・海外派遣事業については、参加に伴う個人負担等の費用が高額であることから、参加できる児童生徒が一部に限られてしまうという課題がある。このため、派遣先の選定や、単に児童生徒を派遣するのみならず、外国からの受入事業の充実を図ることが重要である。受入先のホストファミリーや学校等の負担感に配慮しつつ、費用を抑えた形態の導入やリモート技術の活用、中学校における円滑な受け入れ体制の構築など、効果的かつ持続可能な方法を検討・推進されたい。

生涯学習課

・図書館において指定管理者制度を導入・活用することで、民間事業者のノウハウを生かした質の高いサービス提供や、親しみやすく魅力のある図書館づくりが着実に推進されている点を高く評価する。今後も、利用者のニーズを的確に捉え、更なる発展に努められたい。

経済建設常任委員会

◎所管する課等

農政課、商工観光課、都市建設課、上下水道課及び農業委員会

農政課

・園芸振興対策事業費補助金及び多面的機能支払交付金等について、生産者にとって有利な制度であるため、さらなる周知に努め、新規に限らない担い手育成や確保のため支援体制の充実を図ると共に遊休農地の解消に努められたい。

商工観光課

・なすからブランドについて、認証後の効果を継続的に検証すると共に、認証品のＰＲを図るほか農産品等の新規認証に向けて関係課と連携を強化し、市の魅力発信や産業振興に努められたい。

建設課

・市道等の維持管理について、今後、支障木を含め市道等の維持管理が難しくなることが予想されることから、関係課や地域活動団体と連携を強化し、市民生活の利便性及び安全性の向上を図るため、より道路維持に重点を置くなど道路環境の適正な確保に努められたい。

・市空家等対策計画について、次期計画策定にあたっては、空き家等実態調査の結果を踏まえ、国の空き家対策総合支援事業を積極的・効果的に活用することにより、空き家等情報バンクをさらに充実させ、また、民間活力も視野に入れた空き家対策の推進に努められたい。

都市整備課

・烏山駅周辺地区整備事業について、今後の展開における本市の最重要案件となることから、市民に対して、適切な時期に十分かつ丁寧な説明と情報提供を行うと共に、市民の意見等を踏まえ事業展開されるよう努められたい。

・防災集団移転促進事業について、事業計画の国土交通大臣の同意を受けたことから、更にスピード感をもって事業展開が図れるよう、引き続き対象となる市民に寄り添った丁寧な対応により、迅速かつ着実に事業計画の実施に努められたい。

上下水道課

・水道事業の有収率について、衛星技術を活用した漏水調査の結果、改善効果は限定的であったことから、新たな視点として、配水池に設置された流量計の老朽化による精度の低下の可能性を調査するとのことだが、さらに、先進事例を研究し、本市に合った有収率対策を検討され、有収率の向上に努められたい。

一　般　質　問

※質問・答弁の内容は要約してあります。一般質問の記事は各議員が作成しています。詳細は市議会会議録をご覧ください。



母及び父になるなら
那須烏山と言われる
まちを目指せ！

小堀　道和 議員

①子育て世帯に選ばれるまちづくりについて
②長期休み中の学童保育園に給食を実施する件について

映像配信はこちら

子育て世帯に選ばれるまちづくりについて

Q 今のままの施策を続けていては、本市の人口はあと20年足らずで1万人を切ってしまう。何としても、移り住むなら那須烏山、特に子育て世代から選ばれるまちになるために、流山市の成功事例に学び、できることは何でもやる気概で取り組むべき。成功にはリーダーの戦略的施策と、市職員の意識改革が不可欠である。また、住み続けたいと思うまちの価値は市民が憩い、楽しみ、交流し、市内外から人が集まるにぎわい空間があるかが決め手であり「本市独自の道の駅」建設の重要性を改めて実感する。これらの成功事例を通じて、子育て世帯に選ばれ、人口減少を食い止めるまちづくりを目指すべきと考えるが見解を伺う。

A 流山市の先進事例に鑑みても、選ばれる自治体になるためには、前例踏襲から脱却し、職員一人ひとりが経営者目線で地域の強みや市民ニーズを的確に捉え、市民の満足度・幸福度を最優先とした市独自の事業展開が必要であると考えている。全職員の意識改革を図りながら、失敗を恐れず果敢に挑戦する組織風土を構築していく。また、人が集まり、にぎわいを創出する空間づくりは、市民の愛着や誇りを醸成し、地域のモチベーションを高める上で極めて重要である。新庁舎整備を核とした公共施設の再編・再配置による新たな空間づくりの整備に取り組んでいる。市民が主役となって集い、交流ができる魅力的な拠点づくりを地域の独自性を生かしながら、戦略的に推進していく。

ここがポイント
- ✓ 本市の人口減少を食い止めるためには、リーダーの戦略的施策と市職員の意識改革が必要
- ✓ 住み続けたいと思うまちの価値は快適で楽しい、人が集まるにぎわい空間の創出が決め手



地域行事にたくさん
参加しました！

大橋　誠 議員

①令和9年度山あげ祭の開催について
②防災集団移転促進事業について

映像配信はこちら

① 令和9年度山あげ祭の開催について

Q 令和9年の山あげ祭は、ユネスコ無形文化遺産登録10周年の節目を迎える。10周年にふさわしい記念事業の開催を予定しているのか伺う。

A 10周年という節目は祭りの魅力を広く発信する絶好の機会と捉えている。また、「鹿沼今宮神社祭の屋台行事」と連携した“下野の国二大祭り”として盛大に祝う計画であり、県にも広域周遊事業の展開を要望していく方針。

ここがポイント
- ✓ 県全体の観光回遊性を高める工夫として四季を強調し、夏は東の那須烏山市、秋は西の鹿沼市を軸とし、南北を加え年間を通して県にPRしてもらうよう提案。

② 防災集団移転促進事業について

Q 移転先の土地を売却ではなく貸付方式とする理由と、公民館等の地域施設や高齢者支援へ対応方針、補償金額の提示時期について伺う。

A 土地購入の負担を避けるため貸付方式を採用した。地域施設への影響は協議しつつ調整し、高齢者を含む相談には関係各課と連携して対応する方針。補償金額は令和10年度以降に提示予定である。

ここがポイント
- ✓ 金額の提示時期が令和10年度以降と答弁。
- ✓ 都市整備課だけでなく、各課と連携して進め、移転対象者の不安を取り除くべく丁寧に対応していく。

一　般　質　問

※質問・答弁の内容は要約してあります。一般質問の記事は各議員が作成しています。詳細は市議会会議録をご覧ください。



今できる備えを、確実に。

佐藤　利奈 議員

①子どもたちと市民の命を守る学校体育館における熱中症対策と避難所機能の強化について
②消防団員の理解促進と人材確保について
③災害から命を守るために～ハザードマップの活用について～
④災害時の安全確保と行政機能の継続に向けた事前の準備について

映像配信はこちら

1 学校体育館の熱中症対策と避難所機能について

Q 全学校の体育館へ早期に空調を整備するとともに、設置までの期間に避難所として運用する場合の対策は。

A 体育館の使用が困難な場合は、空調のある教室の活用も選択肢とし、市・学校・自主防災組織が連携して避難所を運営する。

ここがポイント

- ✓ 烏山中・南那須中の体育館は空調整備の設計費を計上し、整備が進んでいる
- ✓ 全学校への早期整備を求めた
- ✓ 整備完了まで空調のある教室を避難スペースに活用

2 地域を守る消防団と「共助」の力

Q 人口減少が進む中、消防団員の確保に向け、家族や地域の理解をどう深め、人材確保につなげていくのか。

A 現役の団員対象のアンケートを踏まえた負担軽減や処遇改善、自治会・事業所との連携強化などを通じ、消防団への理解と団員確保に取り組む。

ここがポイント

- ✓ 消防団は地域を守る大切な力
- ✓ 家族・職場・地域が団員を支える環境づくり
- ✓ 自助・共助・公助で災害に強いまちへ

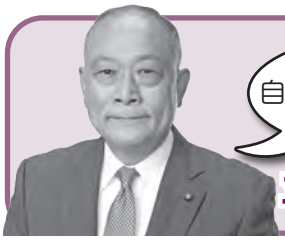
3 災害時の庁舎と行政機能を守る

Q 新庁舎整備とは切り離し、大規模災害で現在の庁舎が使えない場合、市民・職員の安全確保と行政機能をどう継続するのか。

A 庁舎が使用できない場合、災害対策本部は市保健福祉センターを代替拠点とし、その他の非常時優先業務には公共施設等を活用する。

ここがポイント

- ✓ 新庁舎整備とは切り離し「今できる備え」を確認
- ✓ 非常時の代替拠点は保健福祉センター
- ✓ 災害時も行政機能を止めない体制整備



経験のなき自然災害が日本でも世界でも!!

平塚　英教 議員

①本市の災害防災対策について
②本市の学校教育、子育て支援について
③加齢性難聴対策について
④防災集団移転促進事業について

映像配信はこちら

1 ハザードマップの更新について

Q 気象庁の「新しい防災気象情報」を加味した本市ハザードマップの更新の作成進行状況と市民に対する周知の取組を伺う。

A 更新作業中のハザードマップは最新の洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域情報等を反映させる。完成後は全世帯配布、ホームページ・公式LINEで公開し、地域の防災訓練や出前講座等で効果的に周知してまいりたい。

ここがポイント

- ✓ ハザードマップの更新は年度内に完了し、令和9年4月中に配布予定

2 指定避難所の点検・確認状況について

Q 本市の指定避難所開設等の点検及び関係自治会等への確認調整は図られているか伺う。

A 本市は地域防災計画で指定緊急避難場所及び指定避難所を明記しており、災害発生時に円滑に避難所を開設できるよう、施設の使用可否や備蓄品・資材等の点検・確認を随時行っている。

ここがポイント

- ✓ 更新されるハザードマップでは、各避難所の対象地区を掲載し、災害時に円滑な避難ができるよう改善する

3 市内における防災訓練の実施について

Q 災害対応を踏まえた防災訓練を関係機関・団体等と調整し、市民参加で実施する予定があるのか伺う。

A 令和9年の防災週間に合わせて、本市を会場とした県内最大規模の総合防災訓練を県と共同開催で実施予定である。これを契機とし、より実践的な訓練の実施と防災体制の強化に努めていく。

ここがポイント

- ✓ 防災週間は、毎年8月30日～9月5日

一　般　質　問

※質問・答弁の内容は要約してあります。一般質問の記事は各議員が作成しています。詳細は市議会会議録をご覧ください。



初の一般質問でした！

秋葉　泰輔　議員

①不登校児童・生徒への支援について
②障害者自立支援を目的とした排せつ予測支援機器の活用について

映像配信はこちら

① 不登校児童・生徒への支援について

Q 不登校児童・生徒への支援は、学校復帰だけを目標とせず、一人ひとりに合った学びや社会とのつながりを確保する考えか。また、保護者への相談・支援体制をどう整えているか。

A 教室復帰のみを目的とせず、学力低下への配慮もしながら支援する。保護者には公認心理師・臨床心理士や教育相談員等が対応し、医療・福祉等とも連携して継続的な支援につなげている。

ここがポイント

- ✓ 教室復帰だけを目的としない支援
- ✓ 本人の希望や状況に寄り添った対応
- ✓ 保護者を孤立させない相談体制の周知を徹底

② 排せつ予測支援機器の活用について

Q 排せつ予測支援機器は、排尿のタイミングを把握しトイレでの排せつを支え、おむつ使用や介護者の負担軽減にもつながる。 本市でも日常生活用具給付の対象に追加する考えはあるか。

A 排せつ予測支援機器を給付対象としている自治体はまだ少ない。今後、対象者のニーズを把握するとともに、費用対効果や他市町の導入状況を注視し、情報収集と研究を進めていく。

ここがポイント

- ✓ 県内では宇都宮市が令和8年度から導入
- ✓ 市内利用者はおむつ使用量が**約3分の1**に
- ✓ 市は費用対効果やニーズを調査・研究へ

秋葉議員の意見

不登校も障がい者福祉も、支援を必要とする本人だけでなく、その方を一番近くで支える家族への支援も重要です。一人ひとりが自分らしく生活でき、支える人も孤立しない支援体制の充実を求めていきます。



オススメの１冊
『咲良は上手に説明したい！』

青木　敏久　議員

①「共和」による行政運営と市民参画の再構築について
②人口減少対策としての若者流出防止および主体的な政策参画の推進について
③特産品「中山かぼちゃ」の地理的表示（GI）登録と長期的ブランド戦略について
④協働によるJR烏山線の再生と「まちの玄関口」としての駅前魅力向上について
⑤条例の趣旨に鑑みた公共空間（市庁舎）の美観整備と規範の徹底について
⑥要配慮者の生命を守る「個別避難計画」の策定推進と理解促進について

映像配信はこちら

1 「共話」による行政運営と市民参画の再構築について

Q 厳しい財政状況の中、JR烏山線の存続、防災集団移転などの喫緊の課題を踏まえ、新庁舎整備を優先する判断理由と財政負担への対応を伺う。

A 新庁舎整備は、JR烏山駅前を中心とした市街地リニューアルの屋台骨であり、将来を見据えて取り組む重要事業である。優先順位や財政負担への懸念に配慮し、市民との対話と合意形成を図りながら、物価高騰により対応が困難になる前に事業を進める。

ここがポイント

- ✓ 新庁舎整備の優先順位と財政負担を明らかにし、市民への丁寧な説明と合意形成を図る

2 協働によるJR烏山線の再生と「まちの玄関口」としての駅前の魅力向上について

Q 個人の善意に依存している烏山駅前の花いっぱい運動について、行政、JR、地域の役割分担をどのように整理し、継続的な官民協働の体制を構築するのか伺う。

A 自治会等への補助や、からせん応援隊との連携により、個人の善意だけに頼らない官民協働の体制を検討し、駅前美化を烏山線の魅力向上と利用促進につなげる。

ここがポイント

- ✓ 個人の善意だけに頼らない官民協働の体制で駅前美化を継続し、烏山線の魅力向上と利用促進につなげることが重要

3 条例の趣旨に鑑みた公共空間（市庁舎）の美観整備と規範の徹底について

Q 烏山・南那須庁舎について、これまでの点検結果、修繕の実施状況及び今後の対応時期を伺う。また、庁舎の管理状況をどのように評価し、今後の適正管理に反映するのか伺う。

A 庁舎は市のシンボルであり、市が率先して景観を維持する必要がある。烏山庁舎の樹木は早期に手入れを行い、南那須庁舎の門扉はレンガの再接着や全面塗装を検討する。

ここがポイント

- ✓ 市が庁舎と景観を適切に管理し、公共空間の美観維持に率先して取り組むことが重要

一　般　質　問

※質問・答弁の内容は要約してあります。一般質問の記事は各議員が作成しています。詳細は市議会会議録をご覧ください。



この道や
行く人なしに
秋の暮れ

渋井　由放　議員

①都市公園の整備について
②自治会の支援について
③消防団を中核とした地域防災力の充実強化に向けた取組事項について
④小規模特認校である境小学校の在り方について

映像配信はこちら

都市公園の整備について

Q 将来の地方交付税の確保を見据え、清水川せせらぎ公園の都市公園化を粘り強く求めている。都市公園の面積1万平米当たり37万8000円の収入増が見込まれる。県から難色を示されているとの市長答弁に対し、日光砂防事務所へ砂防指定地の都市公園化について確認したところ、有意義かつ可能であるとの回答であった。清水川せせらぎ公園は、占用許可を取ると聞いてるが、普通公園では占用許可が出て、都市公園では占用許可が出ないのか、栃木県の具体的な問題点について見解を伺う。

A 公園内に砂防指定地のほか、砂防設備が存在していることから、都市公園化は困難としていたが、改修工事の実施に伴い、清水川の河川及び砂防施設の管理者である烏山土木事務所と協議を重ねた結果、河川及び砂防設備占用許可を受けることができれば不可能ではないとの新たな見解を示された。これを受け、改修工事の着手に合わせて占用許可の取得に至ったところである。今後、改修工事を無事に完成させ、最終的な完成図面等の策定など必要な条件整理を行った上で、都市公園化の実現に向けて栃木県との協議を進めていく。

ここがポイント
- ✓ この度の清水川せせらぎ公園の改修工事に合わせて、都市公園化が進められる
- ✓ 都市公園の面積は減ることがないため、将来の地方交付税に有利に働くと考えられる



何をやるにも
0から勉強です。

束原　勇二　議員

①基金の運用について
②那須烏山市制度融資の取り組み、並びに栃木県制度融資の市内事業者への周知について

映像配信はこちら

1 那須烏山市の基金（貯金）の運用の強化について

Q 本市の基金残高は128億5100万円である。日本銀行では金利の付かない政策から、金利の付く政策に移行し、更なる金利引き上げの過程にある中、本市の基金の運用の取り組み方針と具体的対応策について伺う。

A 令和7年度の利子収入は3172万円と従来の約9倍となったが、安全性を確保の上、更なる利子収入の増加を目指し、公金管理運用計画に基づき適切に運用していく。

ここがポイント
- ✓ 基金の運用は既に前向きに取り組んでおり、更に利子収入の増加を積極的に目指す。

2 那須烏山市の制度融資枠の増額の要望

Q 本市の中小企業振興資金の運転資金の融資枠について、取り扱い金融機関ではいずれも既に上限に達している。昨今の経済情勢を勘案し、緊急的な融資枠の増額の実施検討について伺う。

A 市内事業者への短期的対策として栃木県信用保証協会と協議の上、融資枠の拡大に着手している。融資枠の増額に伴い、補助金の増額も見込まれることから補正予算の対応と、更には来年度予算による対応も検討したい。

ここがポイント
- ✓ 全ての取扱金融機関で本制度融資枠が上限に達し、緊急に融資枠拡大に着手している。

3 栃木県制度融資の事業者への周知要請

Q 栃木県制度融資の物価高騰等緊急対策資金は本年4月に設定され、売上高や利益率が減少している事業者がまとまった資金を低金利で借り入れできる有利な制度融資である。本市における制度の周知状況について伺う。

A 市のホームページに掲載しているが、更に市内金融機関や市商工会とも連携を図りながら、より一層分かりやすい本制度融資の周知に努める。

ここがポイント
- ✓ 市内の事業者に対し、栃木県が物価高騰対策として緊急に設定した新規の制度融資を周知していく。

一　般　質　問

※質問・答弁の内容は要約してあります。一般質問の記事は各議員が作成しています。詳細は市議会会議録をご覧ください。



明るく開かれた議会を希望します

佐々木　豊　議員

①新庁舎整備の財源・事業手法について
②森林環境譲与税を、森のあるまちへ取り戻す―森林経営管理制度とJ-クレジット森林価値の再生―
③城東地区排水機場の防災機能強化について
④水道事業の有収率向上について
⑤交通事故分析マップを活用した事故予防の思考支援について
⑥スマート農業推進とRTK基地局の利活用について

映像配信はこちら

1 新庁舎整備の財源・事業手法について

Q 新庁舎整備について、各種基金の残高及び今後の積立て計画、国の財政支援の見込みを伺う。

A 令和8年8月末時点で庁舎整備基金約29億8858万円、市有施設整備基金約25億4718万円、地域振興基金約20億4000万円である。総事業費のうち、基金からは約48億円、国の財政支援は都市構造再編集中支援事業12億8,000万円等の活用を見込んでいる。

ここがポイント

- ✓ 新庁舎整備の総事業費は約74億8000万円
- ✓ 財源は基金約48億円、国の支援等約12億8000万円

2 城東地区排水機場の防災機能強化について

Q 令和元年東日本台風で床上浸水が発生した城東地区排水機場について、排出口の水没リスクや非常用電源体制など、防災上の課題への対応状況を伺う。

A 排水口は那珂川の計画高水位より高い位置にあり水没の可能性は低いと考えており、浸水箇所は大型土のうで流入防止策を講じている。非常用電源は栃木県建設業協会烏山支部より発電機を調達する体制としている。

ここがポイント

- ✓ 排水口の水没可能性は低く、ポンプ性能は十分と説明
- ✓ 非常用電源は外部調達が基本で、常設化は現状予定なし

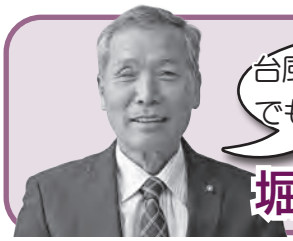
3 水道事業の有収率向上について

Q 本市の水道事業の有収率は令和7年度決算で57.73%と全国平均79.34%を大きく下回っている。漏水対策など有収率改善に向けた取組を伺う。

A 有収率が低い主な要因は漏水及び流量計の老朽化による測定精度低下である。まずは漏水箇所の修繕と流量計の更新を進め、効果を検証しながら改善策を検討する。

ここがポイント

- ✓ 本市の有収率は全国平均を大きく下回る
- ✓ 漏水修繕・流量計更新を優先し、新技術の導入は効果を見極めて考えていく



台風長雨はうんざり！でも、大相撲は面白い。

堀江　清一　議員

①公共施設の今後について
②防災行政無線について
③空き家対策について
④市内の小学校再編について
⑤烏山公民館のタウンミーティング時の市長の発言について

映像配信はこちら

1 公共施設の今後について

Q 庁舎は市民の安全安心のためにあるべきで、職員の駐車場もないのであれば防災指令室、防災拠点、避難所として相応しくないと考える。「市民が主役のまちづくり」とうたっている中で、JR烏山駅前に賛成という市民は何割ぐらいか伺う。

A 賛成反対の声がどの程度あるか、詳細は把握していない。理解の醸成に向けて、わかりやすい情報提供や市民との議論を重ねてきたところである。

堀江議員の意見

- ✓ 烏山駅前に反対の市民の割合は多い。やはりアンケート調査を実施すべきである。

2 市内の小学校再編について

Q 小規模特認校制度は我が市にとって必要であると考えるが、今後の方針について伺う。

A 境小学校については学校適正規模等検討委員会の答申を受け、保護者と意見交換を行ったところである。現時点では、小規模特認校制度を廃止することは考えていない。

堀江議員の意見

- ✓ 子どもが少ないことを逆にチャンスととらえ、さらに教育に力を入れて学力向上を目指すべきである。

3 烏山公民館のタウンミーティング時の市長の発言について

Q 「選挙管理委員会から注意を受け謝罪して頂かないと困ります」という発言について、選挙管理委員会が我々に注意をされたのは、いつ、どこで、誰がされたのか、そのような申し入れの事実があったのか伺う。

A 選挙管理委員会からの報告はなく、誤った発言であった。誰かから報告を受けてその様な発言をしたわけではない。

堀江議員の意見

- ✓ 誤った発言ではなく、嘘の発言である。公の場での市長の発言には大変遺憾である。

一　般　質　問

※質問・答弁の内容は要約してあります。一般質問の記事は各議員が作成しています。詳細は市議会会議録をご覧ください。



稲刈り長雨で泥だらけ

小室　悟 議員

①物価高騰対策の評価と今後の課題・対策について
②新庁舎整備における防災拠点機能の確保について
③烏山駅前新庁舎建設を契機とした町中のグランドデザイン策定について
④空き店舗対策と「味の承継」を軸とした新たなまちづくりについて

映像配信はこちら

1 新庁舎整備における防災拠点機能の確保について

Q 令和8年3月に正式決定した那須烏山市庁舎整備基本計画において、熊本地震での被害事例をどのように教訓とし、新庁舎を大規模災害時の防災拠点としてどのように位置づけ、機能を強化していく考えか伺う。

A 免震構造の八代市庁舎が被害を受けた事案を教訓として、新庁舎の基本設計においては最新の耐震・免震技術の導入や非常用電源・通信機能の多重化など、災害時の重要拠点としての防災対策強化に向けた検討を進めていく。

ここがポイント

✓ 市民の命や暮らしを守るための重要拠点として、耐震性能の確保、災害時の対応機能の充実化に全力で取り組む

2 烏山駅前新庁舎建設を契機とした町中のグランドデザイン策定について

Q 新庁舎建設を契機に、JR烏山駅を核とした市街地全体の将来像を描くグランドデザインを早急に策定すべきと考えるが、烏山和紙や山あげ祭、城下町の歴史的景観といった資源をどのように融合させていく考えか伺う。

A 市街地を大きくゾーン分けし、市街地全体が連携しながら活動を生み出す施策を目指している。本市特有の資源は有利な財政支援措置を最大限に活用し、駅前を核とした回遊動線の整備を図る。各施設を結ぶことで居心地がよく歩きたくなるような町並み整備を進めていく。

ここがポイント

✓ 市街地全体をゾーニングし、それぞれのゾーンが持つ役割を発揮させる方式

表　彰

栃木県市議会議長会から、矢板清枝議員（前副議長）に、会務運営に尽力された功績で感謝状が贈呈されました。



那須烏山市子ども議会傍聴
令和８年８月４日（火）

市内小中学校の代表児童・生徒が参加する子ども議会を傍聴しました。

議場の厳粛な雰囲気の中、子どもたちは少し緊張した面持ちでありながらも、那須烏山市の未来について真剣な提案や質問を行っていました。

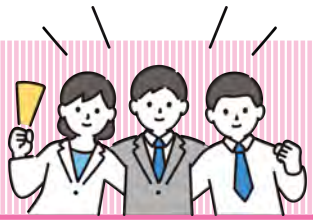
一般質問のやりとりを聞きながら、子どもたちの声に耳を傾け、それを施策として形にしていくことの責任の重さを改めて感じました。



まちのキラリ

那須烏山市を拠点に素敵な活動をしている方を紹介するコーナーです

塩野　裕明 さん



元三箇自治会会長を務め、現在も地域の為に活動している塩野裕明さんを紹介します。

地域の財産である八溝県民休養公園が荒廃している姿を見てこのままでは勿体ない、何とかきれいにしたい、と思いを寄せる有志が集まり、昨年１１月に「八溝県民休養公園をきれいに保存する会」が設立されました。



塩野さんは会長として本年１月１８日に栃木県県北森林事務所と覚書を締結し、３月からは有志会員約３０名と月に１回程度駐車場周りの草刈りや枝払いの活動を行っています。県の公園ですが、なかなか手つかずの荒廃していたところを、きれいなしだれ桜が見られるようになり、地元の方々からも感謝されています。

また、文化財活かし隊へも毎月２～３回参加し、城跡、神社周り、古墳群等の草刈りを行っています。塩野さんは「わずかでは有るが、地域への社会貢献、自分の生きがい作り、更に認知症予防と良い事ずくめだと思い活動に参加している。」との事でした。

（文責　堀江　清一　委員）





YouTubeで９月定例会の本会議全ての録画映像を配信しています。

映像配信はこちら

YouTube　那須烏山市議会　検索

次回の 12 月定例会は、

11月30日(月)開会予定です。

場所：那須烏山市役所南那須庁舎３階
（那須烏山市大金 240）

正式な日程は11月24日(火)に開催される議会運営委員会で決定されます。

議会を傍聴してみませんか

議会を傍聴することは、市政を知っていただく最も良い方法です。傍聴を希望される方は市役所南那須庁舎3階までお越しください。

議会の日程等については、気軽に議会事務局にお問い合わせください。(☎0287-88-7114)

あとがき



９月定例会が無事に終了しました。今定例会では、１１人もの議員が一般質問に立ち、私も初めて一般質問を行いました。また、決算審査では昨年度の市の取り組みやお金の使われ方について、様々な角度から議論が交わされました。

議会が終わって塾に戻ると、生徒から「先生、議会のやつ見たよ！」との声が。まさか小学生や中学生が議会の動画を見ているとは思わず、驚くと同時に、とてもうれしくなりました。議会は大人だけのものではありません。子どもたちにとっても、自分たちが暮らすまちの未来を決めていく場所です。

「ちょっと議会を見てみようかな」「議会だよりを読んでみようかな」と思ってもらえるような、身近で開かれた議会を目指し、取り組んでいきたいと思います。

（秋葉　泰輔　副委員長）

VEGETABLE OIL INK